

あの子の幸せを 私の幸せに

～ お互いさまをつないで 広げる ^{まち}地域の福祉 ～

地域の福祉活動は・・・

その地域に暮らす人

と

その地域に関係する人たち

が

その地域の困りごと

を

みんなで共有し

「こんなつながりできたらいいな」

「こんなたすけあいあつたらいいな」

「こんなまちであってほしい」

と考えながら

そして

解決のためそれぞれができる役割を分担し

・・・地域の

みんなでやるもの



陽太くん

地域福祉活動計画V (ハンドブック Ver.)

平成30年(2018年)度～平成34年(2022年)度

社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会

1. 基本理念

あの人の幸せを 私の幸せに

※サービスや支援が必要な「あの人の幸せ」のために、住民や関係者が力を合せて支援し、そこで生まれる笑顔・つながり・喜び・生きがいなどを「私の幸せ」と感じられるような、温かい地域の実現を目指す願いが込められています。

2. 基本目標と実施計画

基本目標	実施計画（一緒にやりましょう！）
(1) 身近な地域のつながりを強めるネットワークづくり	
つながる	① みんなが参加できるいろんなきっかけづくり
	② 団体同士が協働する地域ぐるみの体制づくり
(2) 地域福祉活動を集めて進める活動拠点づくり	
あつまる	③ いつでも集まれる地域の活動拠点づくり
	④ 孤立をしないための集まりの場づくり
(3) 何でも話せる地域の窓口づくり	
はなせる	⑤ いろんな悩みが打ち明けられる信頼関係づくり
	⑥ 地域のみんなで考える助けあいの活動探し
(4) 暮らしを支える仕組みづくり	
ささえる	⑦ 専門職と企業もお手伝いする支えあいの関係づくり
	⑧ 困りごとを手助けにつなげる流れづくり
(5) 一人ひとりの思いを叶えるなかまづくり	
かなえる	⑨ 多世代で取り組むボランティア活動の推進
	⑩ お互いを尊重しあえるサービスとサポートづくり
(6) いつも頼りにされる組織づくり	
たよれる	⑪ 活動をサポートする人・物・金・情報の確保
	⑫ 災害時に助けあえる日頃のつながりづくり

3. 地域で一緒に取り組む活動

つながる



身近な地域である小学校区ごとに、校区社協はじめ団体同士でまとまり、住民みんなで交流し、つながりを強めて、一緒に地域の福祉力を高めましょう。



たよれる

住み慣れた地域の課題に対応できるよう、各種団体が協働し人・物・金・情報を結集し、災害時でも日頃のつながりを活かした頼れる組織づくりをしましょう。

あつまる

地域の中にいつでも気軽に集まれる活動拠点の確保を目指しましょう。そこに人と情報が集まる機能を高めて、地域の大事な財産として定着させましょう。

かなえる

それぞれの思いを尊重し、あらゆる場面でボランティア活動に参加し、達成感と喜びが得られ、続けていける方法を増やしていきましょう。

はなせる

ちょっとした悩みや困りごとが話せる地域の窓口づくりを進めましょう。さらに専門職も出向いて、支えあい・助けあいについてみんなで考えましょう。

ささえる



地域での暮らしを支えるために、福祉施設・企業・専門職の応援も活用して、住民同士がサポートしあえる新たな仕組みを形にしていきましょう。



地域福祉活動計画とは？

その地域の住民や、社会福祉の活動者・事業者が相互に協力しながら、地域における福祉問題（課題）の解決を目指して、その解決活動と必要な資源の確保などを関係者みんなで行うための指針です。

いわば、「住みやすい福祉のまちづくり」に向けた全員で共有するビジョンやスローガンとそれに基づく行動をまとめたものです。

地域福祉の“いま”と“これから”

“いま”の日本は、少子高齢化、人口減少の社会に転じ、それに対する制度やサービスも大きく変化してきました。

高齢・障がい者、子どもとその親、さらには災害など私たちの生活に関わる分野の法制度は「地域での支えあい」、つまり地域福祉に大きな期待を寄せる内容に改正されてきています。

“これから”の地域福祉は、今や分野の垣根を超えたあらゆる側面からとらえる視点が必要であり、住民・機関・施設・企業など、みんなで支えあう具体的な活動とそれを共有できる指針（計画）が求められています。

平成30年(2018年)3月

発行：社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会

〒610-0121 京都府城陽市寺田東ノ口17

市立福祉センター1階

TEL：0774-56-0909 FAX：0774-56-2800

E-mail tiiki@jyoshakyo.or.jp

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

